

令和4年度 学力向上に係る効果的な取組事例

「教科等の目標を達成するためのタブレットの効果的な活用について」

行田市教育委員会・行田市立下忍小学校

教科等の目標を達成するための一人一台端末の活用

実践1

○教科名 理科

○単元名 5年「流れる水のはたらき」(東京書籍)

○身に付けたい力

条件を変えながら、流れる水のはたらきと土地の変化を調べる活動を通して、それらについての理解を図り、観察、実験などに関する技能を身に付けるとともに、主に予想や仮説を基に、解決の方法を発想する力や主体的に問題解決しようとする態度を身に付けること。

○効果的な ICT 端末の活用 実験の様子の記録、結果の確認、情報共有、資料まとめ、発表



①実験の様子の記録



②結果の確認、情報共有



③資料まとめ、発表

実践2

○教科名 国語

○単元名 3年「こそあど言葉を使いこなそう」

○身に付けたい力

主語と述語との関係、修飾と被修飾との関係、指示する語句と接続する語句の役割、段落の役割について理解すること。

○効果的な ICT 端末の活用 写真素材集め、自力解決、発表



①写真素材集め



②自力解決



③発表

成果と課題

○ICT 機器を効果的に活用することで、各単元で身に付けたい力をつける一助となった。その結果、全国学力・学習状況調査では、すべての教科で全国の正答率を上回る結果となった。

○日常的に ICT 機器を活用することで、主体的に学習に活用できる児童が増えた。

●最大限活用しきれていない部分もあるので、今後も積極的に活用する場面を増やしていきたい。